



Agilent 7667A Mini TD (熱脱着装置) システム概要

Agilent 7667A Mini TD (熱脱着装置) は、ガス中の揮発性有機化合物 (VOC) の分析に適した、可搬型ソリューションです。最小限の電力消費量、省スペース設計、接続が容易なプラグアンドプレイ機能 (拡張バージョンおよび uGC 用バージョンで利用可能) といった特長を備えているため、あらゆる場所で GC や GC/MSD に接続し、すぐに分析をはじめることができます。

7667A Mini TD では、チューブのみの単一ステージ仕様です。C3~C16 の化合物の分析に対応できます。一体型のサンプリングポンプ (拡張バージョンおよび uGC 用バージョンで利用可能) を使えば、C3~C16 の VOC のサンプリング、濃縮、脱着、分析をいつでもどこでもおこなうことができます。

7667A Mini TD には、お客様のニーズに応える 3 種類のバージョンがあります。一体型サンプリングポンプと EPC フローコントロールを備えた拡張バージョンは、組み込み型のトランスファーラインと共に、ラボ外の環境でモバイル性を最大限に発揮します。エントリバージョンには、ルーチンのラボでの使用に必要な基本機能が備わっています。今後リリース予定の uGC 用バージョンは、uGC 注入口用のトランスファーラインを介して uGC と接続します。このバージョンには、サンプリングポンプと EPC が組み込まれています。

構成	拡張	uGC 用 *	エントリ **
部品番号	G4370M	G4370U	G4370A
標準チューブ	•	•	•
組み込み型のトランスファーライン	•	•	–
取り付け型のトランスファーライン	–	標準のトランスファーライン、≥60 cm	標準のトランスファーライン、≥ 60 cm
サンプリングポンプ	•	•	–
脱着フロー EPC	•	•	–
ドライパージ	•	•	•
リーク検出	•	•	•
チューブのクリーニング	•	•	•
拡張性	•	•	•

* uGC 用 7667 バージョンは、今後リリース予定。

**エントリバージョンは 5975T には使用できません。



Agilent Technologies

このシステムは、業界標準の外径 1/4 インチ (6.4 mm) × 3-1/2 インチ (89 mm) サンプルチューブを 1 本使用できます。

寸法および重量

高さ	27 cm (拡張バージョン)、29 cm (エントリバージョン)
幅	14 cm
奥行き	33 cm
重量	6 kg

フロントパネルキーとディスプレイは英語表記です。

環境条件

7667A Mini TD は、ラボ内外の環境で使用できるように設計されています。

使用可能温度	5~45 °C
使用可能湿度	5~95 %
操作高度	4,600 m

安全および法規認証

- ISO 14001:2004、ISO 9001:2008
- 化学製品管理
- IEC 61010
- CISPR 11/EN 55011 Group 1、Class A
- IEC/EN 61326

必要な電源

7667A Mini TD は、AC 100~240 V および DC 24 V* 電源のいずれでも使用できます。

最大消費電力は 200 W 未満。

全体的なシステム性能

7667A Mini TD および Agilent 5975T シリーズ GC/MSD を使用して分析をおこないました。試験結果は試料および条件により異なります。

ピーク面積再現性	< 3 %、24 時間オンラインサンプリング (n < 48)
RT 再現性	< 0.1 %、24 時間オンラインサンプリング (n < 48)
化合物範囲	C3~C16
キャリアオーバー	< 1 %

* < ± 5 %、リップルおよびノイズ < 1.5 % pk-pk

チューブ脱着モジュール

特許取得済みのオンチューブ加熱モジュールによる最大 500 °C/min の高速加熱により、サイクルタイムを最小限に減らし生産性を向上します。

温度範囲	周囲温度 +10~325 °C
脱着時間	0~999.9 分、0.1 分単位で設定可能

トランスファーライン

エントリバージョンおよびマイクロ GC バージョンには 60 cm のトランスファーラインがあり、GC 注入口と接続します。一方、拡張バージョンのトランスファーラインは組み込み型ですが、いずれのトランスファーラインも仕様は同じです。

温度範囲	最高 200 °C
------	-----------

バルブ

温度範囲	最高 175 °C
------	-----------

ニューマティクス

圧力を 85 psi 以下に調整し、マニュアルまたは EPC で制御したヘリウム (He) または窒素 (N₂) のキャリアガスを供給する必要があります。

拡張 (G4370M) およびマイクロ GC (G4370U) バージョンの EPC により、プレパージ、脱着フロー、およびクリーニングフローを制御できます。流量範囲はすべてのモデルで 0~200 mL/min です。

エントリ (G4370A) バージョンの EPC で制御できるのはプレパージとクリーニングフローのみです。流量範囲は 0~200 mL/min です。

オンラインサンプリング

G4370M および G4370U でのみ利用できます。

流量設定範囲	5~150 mL/min
ガス供給源	空気、窒素

プレデソープションチェックおよび制御

リークテスト	各チューブのリークテストを高圧および低圧で行います。テストは、キャリアガスを流さずに周囲温度で自動的に行われます。
プレパージ	脱着の前にチューブをキャリアガスでパージして、大気サンプルから水分および酸素を除去します。

データシステム-最低限必要な PC 仕様

7667A Mini TD ソフトウェアでサポートされるのは Agilent 7820 GC、マイクロ GC、および 5975T GC/MSD です。その他の GC については、ハードウェアのユーザーインターフェースで 7667A Mini TD を操作します。

7667A Mini TD ソフトウェアが対応しているのは OpenLAB CDS ChemStation および EzChrom、OpenLAB ChemStation または EzChrom VL、OpenLAB EzChrom Compact、MassHunter ソフトウェアです。

GC リモートケーブル接続

7667A Mini TD には GC インタフェースケーブルが 2 本付属しています。

ALS コントロールケーブルを使用して 7820 GC または 5975T GC/MSD と接続します。

リモートケーブルを使用して、APG プロトコールをサポートするその他の GC または GC/MS と接続します。

本資料に記載の情報は、予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2013

Printed in Japan, September 12, 2013

(created based on December 14, 2012 version)

5991-1502JAJP

The Measure of Confidence



Agilent Technologies